

「市長との座談会」 市民の皆様からの質問や意見交換などの要約

日 時 令和元年9月5日（木）午後7時から

会 場 下条コミュニティセンター大広間

初めに藤田加茂市長が「令和元年度行財政健全化の取り組みについて」を、五十嵐副市長が「洪水ハザードマップについて」を説明し、参加した皆さんとの質疑応答がありました。

その後は、皆さんからの自由な意見交換を行いました。

令和元年度行財政健全化の取り組みについて

（質問・意見） 今回示されている削減案だけでなく、増収についても目を向けられたら良い。

- 1) 70歳以上無料なのを100円徴収してはどうか
- 2) リス園毎月1万人来場がある。年間通して8か月開園して8万人。無料にこだわらず、年齢等で区分して有料化はどうか。リス園だけでなく市内施設使用料についても再考を

（市長） 今回は削減だけだったが、収入の方もこれから考えていきたい。来年度以降反映できるものは反映していきたい。リス園に限らず無料のものが多い。無料のままでもいいものかどうか、市役所で組織した行財政健全化プロジェクトチーム（PT）からも話が出てきているので、検討を進めていきたい。

10月の座談会では市民バス、コミュニティセンター、美人の湯のデータを示してお話したいと思う。ご意見を伺えればありがたい。

（質問・意見） リス園にAEDの設置を

（市長） 市民の皆様と加茂市を訪れる方の安心・安全な環境を整えることは必要。設置を検討したい。

（企画財政課長） 近くでは市民体育館にある。

（質問・意見） 即効性がある提言ではないが、

- 1) 加茂市は市議員の数が三条市の倍以上と聞く。議員定数の削減を検討してほしい。
- 2) 議会だよりに市議の問い合わせ先が載っているが、市議のメールアドレスも載せてほしい

（市長） 議会は議員発案で。議員さんが今考えている。

（滝沢議長） 議会の在り様を考えた方がいいというご意見を春頃にいただいた。議長に就任してから、議員意見交換会を毎月1回開催している。報酬や定数についての話も出た。議会運営が滞る事の無いよう定数削減しても運営できる体制を検討している。議会運営にかかる議会費についてもどういったものが削れるか検討して示したい。

（質問・意見） 1) 焼却炉について。新設ないし修繕、見直しは？

- 2) ごみ減量化の方策は？

（市長） 1) 報道にあったダイオキシン関連は、修繕が進んでおり基準値以下になっている。今後については田上町長と話しをして、新設も含めて考えられる全ての方法を考えている。

2) ごみの減量化について、今現在ある炉をしばらく使わなければならない。壊れないように長く使う工夫をしなければならない。もし壊れた場合は修繕中に焼却が出来ないこともあり、ごみの減量化は必要。現時点で考えられるのは「分別」「ゴミ袋有料化」これらは今検討中。ごみの減量に有効であれば、市民から嫌われても推進する。

(加茂市・田上町消防衛生保育組合事務局長) 1) 6月の段階でダイオキシンの値は基準値をクリア。今後の見通しは、「広域化」「新設」「堆肥化」「燃料化」等方法がある。来年度予算の中で計画書の作成を予定している。作成の段階では議員や市民の皆様へ情報を提供しながら作成していきたい。

(質問・意見) 1) ふるさと納税について。加茂市民が他市町村へふるさと納税した分の実態は？

2) 市長車を廃止はするか？

(市長) 加茂市民が他市町村へ寄付を行ってる分については資料がなく回答できない。申し訳ない。

2) 市長車は今の公用車を買替える。現行の市長車が古いのと、会議が県外分も含めたくさんあるため。購入の仕方は5年リースで行う。

(企画財政課長) H30年度は加茂市に入ってくる分は約1,500万円。今取り組んでいるのは返礼品の品目を増やすこと、掲載するウェブサイトを増やすこと、に取り組んでいる。

(副市長) 2) 今、市長は市内に行くときは普通の庁用車を使っている。黒塗りのクラウンはあるが、老朽化が進んでいる。16年使用し、走行距離は13万キロ。新しい車はエスティマ。市長だけではなく、随行者等相乗りするとある程度大きい車になる。県内30市町村あるが、他市の市長は黒塗りにから大型の1ボックスカーに変えている。他市と足並みをそろえ、あまり華美にならないように。

(質問・意見) 声なき声を拾ってほしい。広報に意見が書けるページを設け、組長さんなどに出すなど。目安箱など。工夫してほしい。

(市長) 声なき声、言いたくてもなかなか言えない人が居ることは認識している。今の取り組みとしては市役所玄関の市政ポスト。これは誰でも入れられるようになっている。この存在を皆さんにもっと知ってもらえるようにしようと思う。コミュニティセンターや区長経由についても検討する。

(質問・意見) 1) 小中学校の体育館冷暖房を予算から外したが、学校の夏休みの部活で市内体育施設を優先的に利用できるように。

2) 生田屋。使わなくても維持費が掛かるが、いくらか

3) メリアの1階サンゴマート、なくなって市民生活に影響が出ている。なんとか次のスーパーが入ってほしいが、問題は駐車場が少ないこと。駅前のモニュメントを壊して市の有料駐車場にしてはどうか。

(市長) 1) 小中学校の体育館エアコンあるに越したことはないが、財政的に厳しい。また、他市は学校体育館にエアコンを入れていない。夏休みの部活で子どもたちが市内体育施設を使えるようにしたいと思う。

2) 先般、生田屋の内部を公開して、アンケート実施。アンケートの意見は割れている。解体、維持、いずれにせよ費用が掛かる。どちらの費用もお示しして、秋にもう一回内覧会を開き、意見集約したいと思う。

3) サンゴマートがなくなり、人の流れが変わったのは多くの人を感じていると思う。次のスーパーが入

るために市が協力できることは協力していきたい。駐車場は若干遠いがあることにはあるので、市として整備することは考えていない。

(副市長) 3) モニュメントについては賛否あると思う。加茂山公園に彫刻の森を整備するときにはほぼ同時期にモニュメント設置した。このモニュメントについて「加茂の文化度を感じる」と言われたことがあった。よし悪しはともかく、駅前にモニュメントがあり、そこに噴水がある。加茂市民の民度を感じるという話をした人もいる。モニュメントを潰して1台か2台くらいの車しか止められないなら、あってもよいと思う。

(質問・意見) 1) 加茂の入札。予算をつけるのは管財係か？

2) 落札した際に「こんなに安くて大丈夫か」と聞かれたことがあった。市が考えている金額は高い。儉約できる部分はあるはず。

(副市長) 1) 市長です。

2) 例えば道路を造る際は国の基準に合わせて作る必要があり、一般の敷地を舗装するよりもだいぶ高価になる。安かろう、悪かろうで納めてもらっても困る。市は高めになってしまう。

(質問・意見) どんなものでも必ず談合がある。

→回答なし

(質問・意見) 1) 1回目から参加している。財政健全化、一番の責任は有権者。おかしい事をおかしいな、と思わないのがダメ。議員も議会で発言しない。教育の問題もある。若い人は選挙にいかない。市長だけの問題ではない、市民全員の責任だと思う。

2) 財政健全化の有識者会議、有識者はいるのか？

3) コミュニティが大事だというが、会議の仕方が分からない。男たちは飲むだけ。まともな会議にならない。義務教育でなんとかならないのか。

(市長) 5回参加いただきありがとうございます。美人の湯など、市民の関心の高いものは市民の皆様のご意見を聞いて、最終的には市長の責任で決めないといけないと思っている。百人が百人賛成できる案ではないかもしれないが、なるべく市民の皆様が納得いくように意見を聞きたい。いつまでも引き延ばしにはしない。任期中には筋道を立てたい。

(質問・意見) 企業誘致や大型店の出店についての考えは？

(市長) 若い人が働く場確保する上で必要。これまで以上に積極的に企業誘致に取り組んでいきたい。大型店については、今はまだ条例で出店できない地区があるので、それ以外の所で出たい事業者があれば拒否しない。

(質問・意見) 座談会5回の回答の内容を知らせてほしい

(市長) 時間は掛かるかもしれないが、なんとか文書にして、ホームページでは見られる様にはしたい。各回、地区の要望なども出たので、それらではなく全般に関わるものについて。

(副市長) 要約したものは、時間がかかるかもしれない。

(質問・意見) 24才男性です。

1) 昼や夜にランニングをしている。若者が少ないように見える。おそらく都会に仕事を求めて行っている。20代の雇用について何か考えは？

2) 賃金が下がっている。また、ブラック企業をなんとかしてほしい。加茂市役所も遅くまで電気がついていると聞く。

(市長) 1) あらゆる世代の方が、若い人に加茂で働いてほしいと思っている。まず企業誘致を積極的にしていきたい。また、起業したい人が起業しやすい環境を整えていきたい。

(副市長) 2) 加茂市役所が夜遅くまで残業していたのは過去の話。忙しい時期は残る事もあるが、市長の決裁待ちで残ることはない。春には高卒・大卒向けの就職説明会を開催しているので、是非とも若い人に加茂に就職してほしい。

(質問・意見) 中学校の武道授業、合気道は東京から先生が来ていると聞くが、本当か。

(教育長) 合気道に関しては東京の本部道場から師範が2名。武道実行委員会の中で種目、実施時期、規模の見直しを考えている。PTからの要望も出て来ると思う。

(質問・意見) 高齢化、認知症について自動車事故が問題になっている。県単位、市町村単位で免許返上について言われているなか、市民バスの問題もあり、街から遠い人の買い物がだんだん不便になる不安がある。

1) 高齢化に対して、健康維持を市として何をしているか。

2) 1) によって財政への影響は？

3) 認知症対策は何かしているのか？

4) 認知症等で免許返納した場合の加茂市民への特典は何あるか？

(市長) 1) これまで市は、健康を維持するという所にお金を使ってこなかったと思っている。これからは健康づくり、健康対策にも力を入れたい。器具を入れたりするのは難しいかもしれないが、来年度以降、仕組みづくり等していきたい。

3) 認知症対策は、認知症にならないよう、手前の対策が必要。市内で認知症対策の活動をしている人もいる。

(健康課長) 2) 国全体として医療費を下げる方向。健康対策、介護予防。加茂市では検診後のフォローや健康講演会など色々な健康対策をしている。これらは継続・充実していく。健康づくりを目的としたイベントなどをサークル的なものの醸成から行っていき、市全体が健康づくりに取り組んでいくような仕組みづくりを検討している真っ最中。仕組みによっては国からの交付金が増えたり、それにより市民が健康になれば国保の医療費が減り負担が減るなど相乗効果が期待できる。支援センターでも介護予防の講演会等取り組みをしている。

4) 以前にも話が出たが、免許返納の際に免許証の代わりにするものの交付を受けたい場合は本人が行かないとダメということがあり、自分で返納出来ない人に対して特典が何も出来ない。他の市町村は、免許返納の特典を止める所も多いと聞く。皆様の声を聞きながら対応したい。市民バスについての意見も色々ある。PTでも話を詰めて、加茂市に合った市民バスの在り方を検討する

(質問・意見) 職員数が少ない。PTで検討するにしてもその職員の数が少ない。保健師さんも少ない。課長も兼務でやっている。福祉事務所職員少ない。

(市長) 健康づくりに関しては保健師さんが絶対的に足りない状況。栄養士さんなど、専門職を増やしていく。一般職員も足りない部分もある。来年度以降、組織改編で一緒に出来る課は一緒にしようと思う。

洪水ハザードマップについて

(質問・意見) 1) 洪水ハザードマップ。土砂災害の指定をされた。間違いないか。
2) 土砂災害のハザードマップを作成する必要があると思うが、県は説明会を開いたが市は会を開いたか。やるつもりはあるか。また土砂のハザードマップはいつ頃出来上がるか。

(副市長) 9月補正予算で土砂災害ハザードマップ作成予算を計上。完成は年度末辺りの予定。藤田市長の方針として市民の皆様の安心・安全を守るとして、まずは洪水ハザードマップ出した。所々修正が必要な箇所がある。座談会でも色々な意見が出る。そういったものを含め、土砂災害ハザードマップ作成に活かしたい。ただ、土砂の場合は場所が分かりづらいことがある。マップにするか冊子にするか、検討してなるべく早く作成したい。

(市長) うちの裏がレッドゾーンになった。そういう警戒区域を含め土砂災害ハザードマップを作る事になると思う。まずは自分が住んでいる地域が危険かどうかを認識していただく、災害が起こりそうになったときにどこへ逃げれば良いかを平時から知っていただくことが大事。

(質問・意見) 我が家が土砂災害警戒区域に指定された。2月に県の説明会行った。洪水ハザードマップ出たが、洪水と土砂災害はセットだと思う。避難する場合、民間の避難所はレベル3で入れるのか？例えば夜、そこの職員が居ない状態で対応できるのか？

(副市長) オートマチックに決まっていない。洪水は読めるが、土砂災害は土壌雨量指数を気象庁が公表しているが、これを見ながら現状を見て決める。現市長は「空振りでも構わないから避難指示を出す」としているので、発令に手間取ることはない。発令したら避難場所を確保しなければならない。ただ、皆様が状況に危険を感じて発令前に避難所に行っても開いていない。行政は即座に対応できないこともある。まずは自分で情報をつかみ、親戚の家などへ避難するなどしてほしい。

(質問・意見) 仮に五番町や上町の人が、避難勧告が出たら本量寺こども園が近いが、開けるのか。

(副市長) 発令されれば開けます。

(質問・意見) 昨年、大雨で田上町からエリアメールが出た。自分が若宮町だから市役所に避難場所を確認したら「若宮中学校ではなく中央コミュニティセンター」と言われた。じゃあ実際に若宮の高齢者が大雨の中、中央コミュニティセンターまでどうやって行くのか？このようなやり取りが実際あったので、発令されたら開いていないということが無いようにしてほしい。

(副市長) 日中のことであれば、中央コミュニティセンターは常に職員がいるので、避難所としては学校よりも対応が出来るかと担当が判断したのではないかと。ただ、学校が開いていれば学校へ避難していた

だいて構わない。学校が拒むことはない。また、夜については用務員が出て開けることになる。避難所開設は一斉ではない。効率も悪く人員もない。7.29水害（平成23年7月新潟・福島豪雨）時は下条川に近い下コミュニティセンター、下条小、市民体育館。しかし現実問題、そこ以外にも果樹の選果場が高いため避難した西地区の人もいた。

（総務課長） 加茂市は当時、避難所開設を迷っていたが、自主避難者が出てきたため開設した経緯がある。

（市長） 今回、洪水ハザードマップのみを出したのは、土砂災害と重ねたものを作ると全く分からない・分かりにくいマップになってしまうため。土砂災害ハザードマップは今年度末には出したい。準備の都合で洪水を先に出した。発災しそうな時に不安から早めに逃げたい人もいると思う。そういう人のためにも、情報は早目に出したい。どこが開設されているか。不安の解消に努める。平時の避難訓練は必要。支援が必要な人に対して誰がどのタイミングで支援するのか、これも含めて訓練をしていきたい。

（質問・意見） 下条川左岸に住んでいるが、左岸側に公共施設が無く避難場所がない。警戒レベル4の段階で下条川を渡れるのか？

（副市長） 橋を渡って逃げることはおそらく出来ない。広域連携を考えていなかった。隣接する他市町村へ逃げる場合が良いこともある。これからは行っていかないといけないと思う。例えば須田地区の人が信濃川を越えて加茂の街中へ行くより、中ノロ川を越えて新潟へ行った方が良い場合もある。今後は他市町村との連携をとるようにしたい。

（質問・意見） 下条川左岸について、40-43番まで4箇所避難場所集中している。人数とキャパは適正か。

（副市長） 確かに集中しているように見えるかもしれないが、市が避難所を開設しやすいのは市の公共施設。他地区からも逃げ込める先が少しでも多い方が良い。集中してしまっているのは事実。それについては精査しなければならないが、（避難所が）無いよりあった方がいいという観点から載せている。

（質問・意見） 1）三条の水害時、避難場所がやられた。ある農家の方が「水害にあったのは街もんで、おらあ百姓で昔からのもんだから大丈夫だった」と。そういう場所が地域にあるなら、そこを避難所として整備してはどうか

2）垂直避難。若い人は簡単だが、年寄りも。

（副市長） 行政の責任放棄ととらえられるかもしれないが、まずは自分が逃げる。そして子供達には小さい頃から防災教育を続けることが重要。大人は「自分はなんとかかなるだろう」（正常化バイアス）とってしまう。自分で行動をとる、自分で情報を取りに行く、これが大事。

質問・意見交換

（質問・意見） 新加茂病院。常勤の医師確保は？

（市長） 市民の皆様の要望は強いと思っている。自分が先頭に立って要望していく。

(質問・意見) 市役所玄関前ロータリーにある松の木の島。太田市長さんの時に作った。田下さんの胸像を置くつもりだったが、小池前市長の時代にやめた。移してほしい。

(市長) 初めて聞いた。どう対応したらいいか即答できない。

※質問や意見交換のときに、一部聞き取れなかった部分もありました。ご了承ください。